



広町自治会
会長 猪俣 武雄
802-2391

明けましておめでとうございます

「年頭の挨拶」

広町自治会 会長 猪俣武雄

明けましておめでとうございます。旧年中は、自治会の事業運営にご理解ご協力をいただきありがとうございました。本年もどうぞよろしく願いいたします。

今年は、元旦より穏やかな日々が続き、皆様には穏やかに新年をお迎えのことと思います。

しかしながら、正月飾りが取れると同時に、新型コロナウイルスの緊急事態宣言が再度発出されました。GoToのイベントが中止になり、不要不急の外出は控えるようにと要請が出ています。コロナウイルス感染者の数が減少せず、医療が逼迫し一般の病気や怪我でも病院にかかることが出来ない危機が心配されています。

一人ひとりがもう一度初心に戻り「手洗い、マスク、3密防止」を徹底し、外からウイルスを家の中に持ち込まず、家庭内感染を防ぎましょう。

一時も早く、コロナウイルス騒動が収束し、通常の自治会行事が出来ますように皆様の協力をお願いいたします

【2021の干支は、「辛丑」（かのとうし）です。】

丑年の人は努力を惜しまない真面目さが特徴といわれています。忍耐強く、苦しいことにも弱音を吐かずひたむきです。

しかし、大器晩成型でもあり、努力が実を結ぶのは後になってからです。性格も真面目で曲がったことを嫌う傾向にあります。人としては信頼でき、付き合いやすい人物像と言えるそうです。

2021年は「丑」に関する神社にお参りに行き、干支にちなんだ置物を飾るとよいそうです。

今年の恵方は「南南東」です。破魔矢の矢先は恵方に向けて飾りましょう。



【昨年引き続き緊急事態宣言、2度目の発令】

コロナウイルス感染者が急増、連日、過去最高の数字が並んでいます。20代・30代の陽性者が全体の50パーセントを占めています。飲食店ばかりに自粛を求めています。若者にも自粛と自制を求めるのが先ではないでしょうか。若者は、コロナにならないのではなく、陽性になっても発症しにくいそうです。発症していなくても他人に移す危険はあります。

コロナウイルス患者の対応に医療現場は疲弊し、一般の手術や診療が出来ない医療崩壊と言われる状態が間近に迫っています。あなたの家族が手術を受けられないかもしれません!!。

「若者よ、大人としての自覚と認識を持って、緊急事態脱出の先頭に立ちましょう」

【知っていますか？ 「どんど焼き」】

どんど焼き（どんと焼き、左義長）も次第に様変わりしてきました。どんど焼きとは正月飾りを一カ所に集めて積み上げて燃やし、年神様をお見送りする行事です。

その煙に乗って年神様は天に帰るといわれています。昔、子供たちは自分の書き初めと一緒に燃やし字がうまくなるようお願いをしました。その残り火で持ち寄った団子を焼いて食べたものです。

時代が変わり正月飾りも市販品が多くなり、飾りの中にはプラスチック製の部品が多くなり、燃やすと有毒ガスが発生し、焼いた団子は臭いがついて食べられません。

御霊神社では、どんど焼きの前に正月飾りからプラスチック部品を手作業で取り外すために、数日かかる大仕事です。神社に持って行く正月飾りからはプラスチック部品等は外してください。

神社でお炊きあげするのは、神社のお札、お守り、正月飾りだけです。掲示されている注意事項をよく読んでください。

家庭で正月飾りを処分する方法は？、ゴミ箱ポイはNGです。神様が宿っていた物ですから感謝を込めて丁寧に扱いましょう。半紙や新聞紙の上に正月飾りを置き、塩を「左→右→中央」の順にかけでお清めし、下に敷いた紙で丁寧に包み、ゴミの分別ルールに従い、燃やす家庭ゴミの日に出してください。ただし生ゴミと一緒にの袋は失礼ですね。



【イメージしてください。もしも、もしもの連続】

「医療崩壊が迫り。何十年ぶりの寒波が。そこに震度7の地震が発生」このようにピンチが重なったら、どうなるか皆さん想像できますか？？？

今までは、大震災が起きたら避難所へ行く訓練を続けてきました。新型コロナの感染が始まってからは、状況が大きく変わってきました。3蜜を避け換気をこまめにしなければなりません。

人と人との距離を十分とると、避難所の体育館に入れる人は今までの計画の半分以下40人程度になります。こまめに換気をするには、体育館の扉を定期的には開けなくてはなりません、寒波の中では考えたくありませんね。

受付では検温をして、体調の悪い人や感染の疑いのある人を別の場所に隔離しなければなりません。高齢者や妊婦さんはどうするのですか？、受付は大混乱になることでしょう。

基本的に避難所の定義は、「地震で家が壊れて生活できなくなった人が一時的に生活する場所」です。今までは、地震が起きたら避難所に集まる訓練をしてきました。避難所とはどのようなところで、どのような生活になるのかを知るの大切な訓練です。コロナ騒動が始まって体育館の避難所だけでは全く場所が足りず、感染症に対する備えが十分でないことがわかり、これから対策が始まろうとしています。

大地震が起きたときに、避難所に行かないというのも訓練の選択肢の一つかも知れません。そのためには、日頃から5日くらい家族が持ちこたえる災害時の備蓄は各家庭で実践しましょう。「非常事態宣言が出てから、買いだめに走ることをしないようにも一度点検してください」

【大晦日の悲しい出来事】

年末年始のゴミの収集はお休みです。集積場所もきれいに掃除されました、大晦日・31日木曜日に、プラゴミの袋を3袋も集積場所に出した人がいました。年末の収集予定のお知らせが張ってある目の前に、曜日はありますが**大きなマナー違反ですよね !!** 袋は次の収集日までそのままでした。この様子をみた人は、広町はだらしのない町内会だなど思われたことでしょう。

「マナー違反の人、あなたに猛省を求めます」